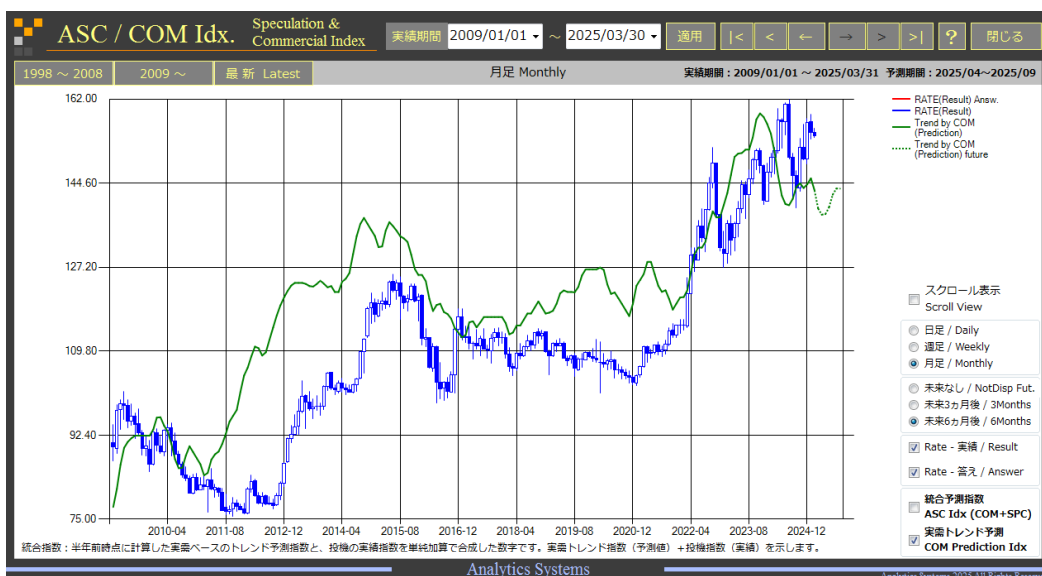


Analytics Systems FXSE の実需推移予測は、
過去25年間の損失回避率が 91% となっております。

本資料では、その計算方法と各年の結果をご案内いたします。

FXSEの実需推移予測が皆様のお役に立つものかどうか、
ご判断いただく材料になれば幸いです。

2009年から2025年2月までの、半年前時点に算出していた実需推移予測（緑のライン）と
結果のドル円為替レート（青の口ウソク足）です。
実需推移予測ですので、他の要素（投機や外債投資等）が一切考慮されていない予測ですが、
中長期で見ると一定の効果があることが分かります。



Powered by Green AI Technology



当資料の内容には過去の実績精度を示している箇所がありますが、
今現在および未来の精度を保証するものではありません。

日本アナシス合同会社
Nihon AnaSys LLC

Analytics Systems Laboratories



損失回避率について

(計算方法・判定方法)

計算方法

損失回避率は、各年ごとに計算した、週足ベースの予測OK比率です。

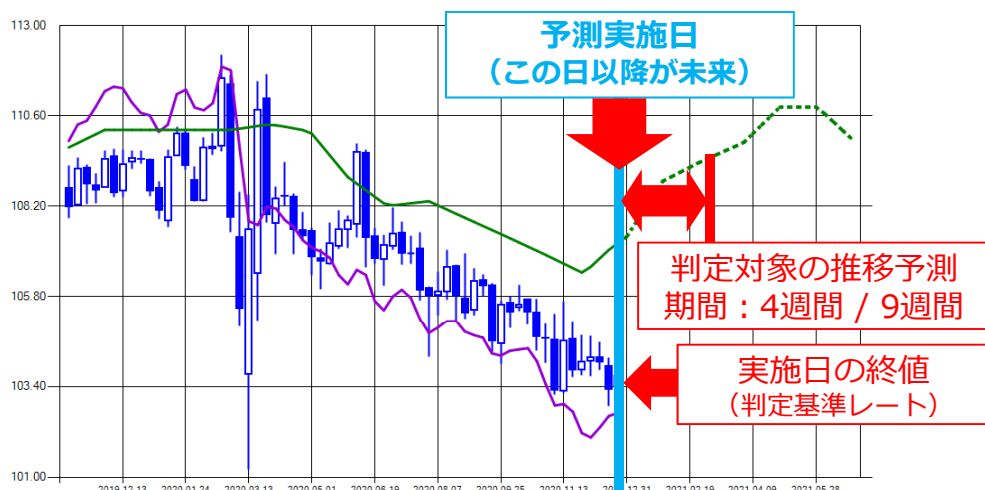
予測OKの判定は、上昇・横ばい・下落 という実需推移予測に対し、予測実施時点の終値から、判定期間中に、下記「予測OK判定の条件」を満たす値動きがあったかどうかで行っています。

予測実施日は、週の最終日に設定されています。

判定期間は、予測実施日の翌週から開始しています。

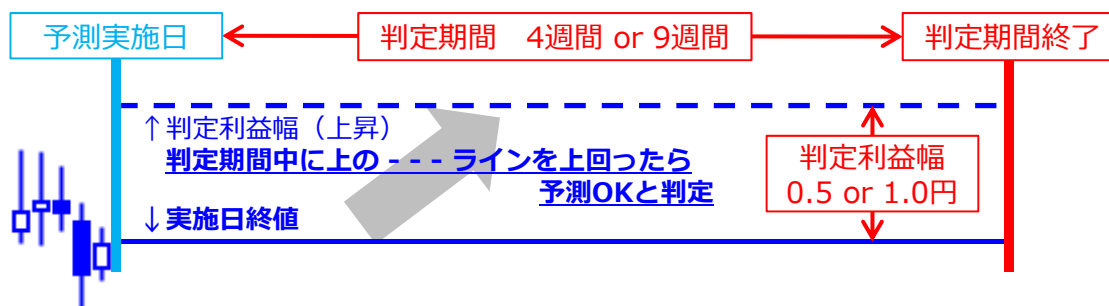
判定の基準となるレートは予測実施日の終値です。

⇒為替市場の休場日以外、「金曜日の終値を用い、翌月曜日が判定期間の開始日」になります。

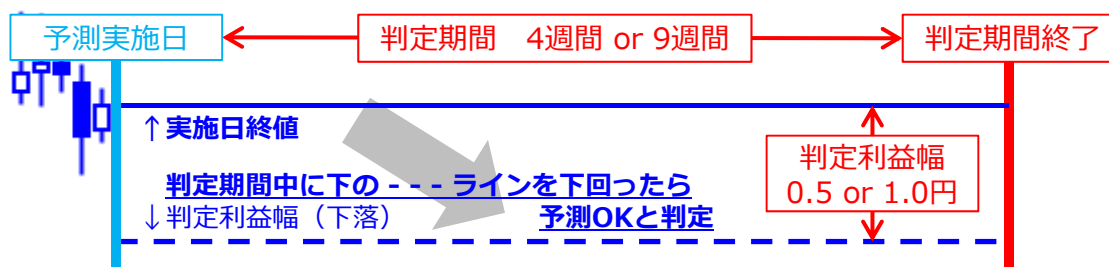


予測OK判定の条件

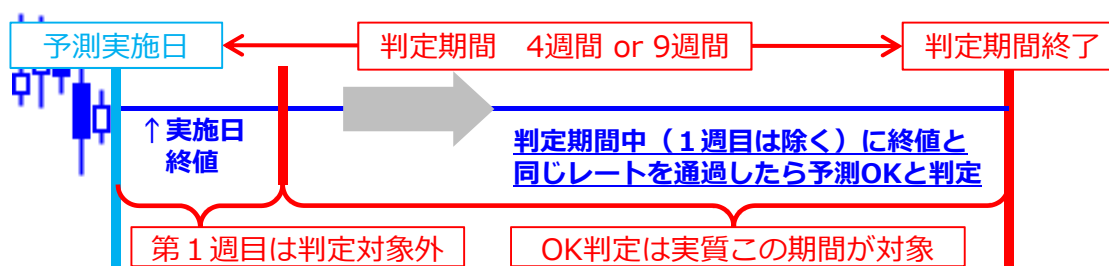
実需推移予測が
上昇 ↗
予測の場合



実需推移予測が
下落 ↘
予測の場合



実需推移予測が
横ばい →
予測の場合



※翌週の始値は前週終値に近い事が多く、ほとんどのケースで「横ばい予測OK」と判定されてしまいます。そこで、有用性を厳しく評価するために、翌週は横ばい判定から除外しています。



損失回避率・改善効果一覧表【1】

判定期間：4週間（約1ヶ月）

<表の凡例>

FXSE使用・・・FXSEの推移予測を使用して、予測OKになった週の割合です。この数字を「**損失回避率**」と呼称しております。**自然達成**・・・判定期間に判定利益幅分の上昇&下落の両方が起きた場合、FXSE予測が上昇・下落・横ばいのいずれであっても予測OKの判定になります。その様なケースが発生した週の割合が「**自然達成**」の値です。**FXSE使用による改善効果**・・・損失回避率－自然達成率です。FXSEの使用で、自然任せよりどれだけ改善できたかの値です。損失回避率70%、自然達成率40%の場合、FXSEの使用で30%の改善効果があった事になりますので（+30%）と表示されます。

	判定利益幅：0.5円幅 自然達成 → FXSE使用 (改善効果)	判定利益幅：1.0円幅 自然達成 → FXSE使用 (改善効果)
1999年	55.8 → 86.5% (+30.7 %)	46.2 → 80.8% (+34.6 %)
2000年	51.9 → 84.6% (+32.7 %)	42.3 → 78.8% (+36.5 %)
2001年	56.6 → 94.3% (+37.7 %)	49.1 → 84.9% (+35.8 %)
2002年	54.7 → 88.7% (+34.0 %)	39.6 → 81.1% (+41.5 %)
2003年	60.4 → 81.1% (+20.7 %)	37.7 → 75.5% (+37.8 %)
2004年	58.5 → 79.2% (+20.7 %)	39.6 → 66.0% (+26.4 %)
2005年	46.2 → 78.8% (+32.6 %)	36.5 → 78.8% (+42.3 %)
2006年	63.5 → 80.8% (+17.3 %)	28.8 → 65.4% (+36.6 %)
2007年	56.6 → 88.7% (+32.1 %)	39.6 → 79.2% (+39.6 %)
2008年	49.1 → 84.9% (+35.8 %)	43.4 → 79.2% (+35.8 %)
2009年	56.6 → 79.2% (+22.6 %)	47.2 → 71.7% (+24.5 %)
2010年	50.0 → 84.6% (+34.6 %)	32.7 → 69.2% (+36.5 %)
2011年	63.5 → 80.8% (+17.3 %)	25.0 → 59.6% (+34.6 %)
2012年	47.2 → 83.0% (+35.8 %)	11.3 → 67.9% (+56.6 %)
2013年	50.9 → 75.5% (+24.6 %)	35.8 → 60.4% (+24.6 %)
2014年	49.1 → 90.6% (+41.5 %)	22.6 → 66.0% (+43.4 %)
2015年	62.3 → 88.7% (+26.4 %)	34.0 → 73.6% (+39.6 %)
2016年	59.6 → 88.5% (+28.9 %)	50.0 → 73.1% (+23.1 %)
2017年	51.9 → 78.8% (+26.9 %)	38.5 → 75.0% (+36.5 %)
2018年	49.1 → 98.1% (+49.0 %)	22.6 → 84.9% (+62.3 %)
2019年	49.1 → 81.1% (+32.0 %)	13.2 → 56.6% (+43.4 %)
2020年	60.4 → 86.8% (+26.4 %)	22.6 → 66.0% (+43.4 %)
2021年	51.9 → 82.7% (+30.8 %)	11.5 → 65.4% (+53.9 %)
2022年	53.8 → 94.2% (+40.4 %)	38.5 → 92.3% (+53.8 %)
2023年	57.7 → 90.4% (+32.7 %)	50.0 → 84.6% (+34.6 %)
2024年	52.8 → 88.7% (+35.9 %)	45.3 → 79.2% (+33.9 %)
25年間総合	54.6 → 85.4% (+30.8 %)	34.8 → 73.7% (+38.9 %)



損失回避率・改善効果一覧表【2】

判定期間：9週間（約2ヶ月）

<表の凡例>

FXSE使用・・・FXSEの推移予測を使用して、予測OKになった週の割合です。この数字を「**損失回避率**」と呼称しております。**自然達成**・・・判定期間に判定利益幅分の上昇&下落の両方が起きた場合、FXSE予測が上昇・下落・横ばいのいずれであっても予測OKの判定になります。その様なケースが発生した週の割合が「**自然達成**」の値です。**FXSE使用による改善効果**・・・損失回避率－自然達成率です。FXSEの使用で、自然任せよりどれだけ改善できたかの値です。損失回避率70%、自然達成率40%の場合、FXSEの使用で30%の改善効果があった事になりますので（+30%）と表示されます。

	判定利益幅：0.5円幅 自然達成 → FXSE使用 (改善効果)	判定利益幅：1.0円幅 自然達成 → FXSE使用 (改善効果)
1999年	67.3 → 92.3% (+25.0 %)	57.7 → 88.5% (+30.8 %)
2000年	71.2 → 92.3% (+21.1 %)	65.4 → 86.5% (+21.1 %)
2001年	67.9 → 98.1% (+30.2 %)	60.4 → 90.6% (+30.2 %)
2002年	73.6 → 92.5% (+18.9 %)	66.0 → 86.8% (+20.8 %)
2003年	79.2 → 92.5% (+13.3 %)	66.0 → 84.9% (+18.9 %)
2004年	77.4 → 86.8% (+ 9.4 %)	64.2 → 77.4% (+13.2 %)
2005年	65.4 → 90.4% (+25.0 %)	53.8 → 88.5% (+34.7 %)
2006年	73.1 → 84.6% (+11.5 %)	50.0 → 73.1% (+23.1 %)
2007年	67.9 → 92.5% (+24.6 %)	52.8 → 84.9% (+32.1 %)
2008年	64.2 → 90.6% (+26.4 %)	62.3 → 86.8% (+24.5 %)
2009年	69.8 → 81.1% (+11.3 %)	66.0 → 75.5% (+ 9.5 %)
2010年	61.5 → 88.5% (+27.0 %)	51.9 → 86.5% (+34.6 %)
2011年	84.6 → 88.5% (+ 3.9 %)	57.7 → 76.9% (+19.2 %)
2012年	54.7 → 84.9% (+30.2 %)	28.3 → 77.4% (+49.1 %)
2013年	71.7 → 90.6% (+18.9 %)	62.3 → 84.9% (+22.6 %)
2014年	66.0 → 98.1% (+32.1 %)	34.0 → 75.5% (+41.5 %)
2015年	75.5 → 96.2% (+20.7 %)	52.8 → 83.0% (+30.2 %)
2016年	71.2 → 92.3% (+21.1 %)	63.5 → 84.6% (+21.1 %)
2017年	75.0 → 90.4% (+15.4 %)	71.2 → 88.5% (+17.3 %)
2018年	66.0 → 100.0% (+34.0 %)	39.6 → 92.5% (+52.9 %)
2019年	69.8 → 84.9% (+15.1 %)	32.1 → 67.9% (+35.8 %)
2020年	77.4 → 100.0% (+22.6 %)	54.7 → 88.7% (+34.0 %)
2021年	63.5 → 88.5% (+25.0 %)	21.2 → 69.2% (+48.0 %)
2022年	65.4 → 98.1% (+32.7 %)	55.8 → 98.1% (+42.3 %)
2023年	75.0 → 92.3% (+17.3 %)	67.3 → 92.3% (+25.0 %)
2024年	67.9 → 92.5% (+24.6 %)	62.3 → 84.9% (+22.6 %)
25年間総合	70.1 → 91.5% (+21.4 %)	54.5 → 83.6% (+29.1 %)